

共働き・共育て社会実装プロジェクト



①現状・課題

- ✓ 生まれてきたこどもが大切に育てられ、子育てする方が安心して暮らせる社会の実現に向け、「共働き・共育ての推進」を重要課題としている。特に、男性が家事・育児に参画することは、子育ての負担が軽減され、女性の就業継続・キャリア形成を促進するとともに、子育ての幸福感向上に直結する重要な要素である。
- ✓ 国の調査によれば、若年層の6割が仕事と家庭の両立を希望しており、男性の7割が1か月以上の育児休業を希望している。静岡県の男性の育児休業取得率は48.8%まで上昇したものの、1か月以上の長期取得はそのうち49.2%にとどまり、十分とは言えない。その背景には、職場・周囲の理解不足、企業の業務の引継ぎや代替体制への不安などがあり、制度整備だけでなく職場環境や企業文化を変えていく取組が必要である。
- ✓ 2024年度県民幸福度調査「子育て支援・補助が手厚い」の評価は低く、2024年度少子化対策県民意識調査では「子育てが社会から応援されていない」という意識が5割以上であることから、企業や地域を含めた社会全体で子育てを支える仕組みづくりが求められている。特に企業経営者や人事担当者が、男性社員の育児休業の取得を積極的に推進できるような仕組みが必要である。

②実現したい未来

- ✓ 男性が希望する時期に必要な期間の育児休業を取得でき、共働き・共育てができる社会の実現。
- ✓ 具体的には、男性の1か月以上の長期取得者の割合49.2%を女性並みに高める。
- ✓ 企業において、管理職や同僚の理解が進み、育児休業取得時の業務引継ぎ、代替人材の確保、復職支援までを円滑に運用できる体制が整っている状態を目指す。
- ✓ その結果として、子育て中の女性の就業継続・キャリア形成が後押しされ、女性活躍の実現と、人口減少社会における労働力の確保にもつながる。

募集テーマ：共働き・共育て社会実装プロジェクト

③民間企業との協業イメージ

管理職や同僚の理解促進を図り、育児休業の制度整備、代替人材確保、復職支援を円滑に運用できるような静岡県内企業に向けたモデル構築を支援する仕組み。

【想定する提案例】※あくまで例示であり、これに限るものではありません。

- ✓ 育児休業取得の制度整備、業務引継ぎや業務の見える化を支援するツール
- ✓ 管理職向けの「育休マネジメント」研修、行動変容を支援する取組
- ✓ 育休取得者の不在を補う短期代替人材の確保・マッチングモデルの構築
- ✓ 男性育休を取得しやすい企業文化の形成に向けた取組

【提供可能なアセット】

- ✓ 県が保有する関連データの提供（要相談）
- ✓ こうのとりのカンパニー認証制度等を通じた県内企業へのアプローチ機会
- ✓ 庁内プロジェクトチームと連携した、実証やモデル構築に向けた関係機関・基礎自治体へのアプローチ機会や情報発信

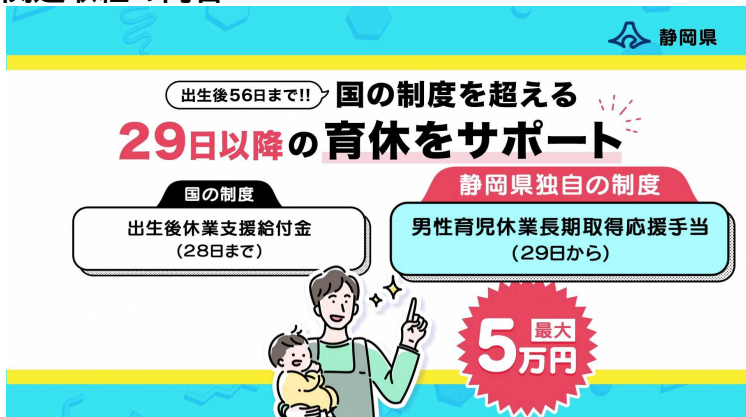
④担当部署／担当者コメント

子育てと仕事のどちらかを選ばなければならない社会ではなく、「こどもを育てたい」、「働き続けたい」という希望を無理なくかなえられる社会を、静岡県で実現したいと考えています。

そのためには、共働き・共育てを家庭だけの努力に任せるのではなく、企業や地域を含めた社会全体で支える仕組みが必要です。また、男性の育休取得率の上昇は、企業の魅力にもなり、若い人たちが働きたくなるような静岡県につながることを期待しています。

静岡県から、共働き・共育てがもっとしやすくなる新しいモデルが生まれ、こどもが大切に育てられ、男性も女性も自分らしく働き、暮らせる社会を実現したいと考えています。ぜひ一緒に実現していきましょう！

関連取組の内容



静岡県

出生後56日まで!! 国の制度を超える
29日以降の育休をサポート

国の制度
出生後休業支援給付金
(28日まで)

静岡県独自の制度
男性育児休業長期取得応援手当
(29日から)

最大
5万円

男性育児休業長期取得応援手当



静岡県版父子手帳